

前回は上津屋村の渡しのことを話されました。上津屋村の浜の農耕地が手狭になると浜の人たちは木津川の東側の東向きに田畑を持ち、その内、そこに住む人も出始めましたが、浜から耕作に東向きに通うには渡しに乗っていきます。渡しを造る費用は全村ひとひひとひから同じように徴収しました。当時、渡しの船頭は浜の住民の困窮している人からくじ引きで4人と決められていたようです。船頭は給米3石もらえました。朝6時から夕方6時まで。村人の渡し料金は無料ですが、横の街道から村外の人が沢山乗るようになると儲かって1500文の運上金を村に納める程になりました。里や浜には神社がいましたが、東向きにはなく、石田神社遥拝所の石碑があるのみ。庄屋もいない、渡しの船頭も出来ない。不満がたまって1艘しかない渡しを争奪するという事件が勃発しました。少しずつ村の体制が変わって行きました。



木津川沿い石田神社遥拝所石碑

- ① 日時 2024年7月24日(水)13時30分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

**八幡まるごと館** / 八幡市男山松里12-20 (TEL&FAX) 07

5-983-3664

(E-MAIL) [yawata@marugotokan.net](mailto:yawata@marugotokan.net) 作られた

ホームページは <http://marugotokan.net/>

又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。